



PRESS RELEASE

平成28年6月22日

報道機関 各位

東京藝術大学

学長 澤 和 樹

『東京藝大ジュニア・アカデミー』の新設について

この度、東京藝術大学において、音楽分野における世界トップアーティストの戦略的育成を目的として、全国の中学生を対象とした早期英才教育のための特別コースとして、「東京藝大ジュニア・アカデミー」を、平成29年度より新たに開設するとともに、音楽産業界とタイアップした学生演奏音源のデジタル・ストーリーミング配信等の「グローバルプロモーションシステム」を新たに構築・実施することについてお知らせいたします。

これらの取組は、文部科学省「国立大学機能強化事業」の一環として実施するものですが、特に音楽分野では、世界的な状況を見た場合「早期教育」の有効性は明らかであるため、本学においても、全国各地で展開する「早期教育プロジェクト」をはじめ、高校2年生からの飛び入学を起点とした「スペシャルソリストプログラム」として、学部3年間での早期卒業・海外留学等に着手している他、本年度から文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」に指定された附属音楽高等学校においても、大学との接続を踏まえたカリキュラム改編を進めるなど、早期教育の強化・充実を図っているところです。

詳細については、「別添資料」を参照いただければと思いますが、新設する「東京藝大ジュニア・アカデミー」に関しては、現在進行中の国立大学機能強化事業を加速化するためのものであり、中学生を対象とした早期英才教育コースを新たに開設することで、本学の早期教育システムを継続性ある体系的なものへと進化させ、将来的には、「小中高大一貫型」の人材育成システムへの発展を目指すものとして、国内では初の試みであり、国立大学としてのミッションを踏まえ、国家事業として世界トップアーティストを戦略的に育成していくための先駆的な試みであると自負しております。

また、「グローバルプロモーションシステム」に関しては、現在、若手音楽家が飛躍していく上で、国際舞台への挑戦が必要不可欠な状況である一方で、我が国ではサポートシステムが不十分であり、個々人のセルフプロデュースに依存せざるを得ない状況にあることを踏まえ、世界を目指す学生へのキャリア支援として、大学在学中における学内オーディションや演奏音源のデジタル発信等を実行すべく、ワーナーミュージックジャパンをはじめとする音楽産業やメディア等とタイアップしたサポート、プロモーションシステムを構築するものであり、国内の音楽大学では初の試みとなります。

本学においては、これらの2つの新たな取組を有機的に連動・機能させることで、シナジー効果を創出することにより、世界トップアーティストの戦略的育成を実現していく所存です。

なお、募集要項や具体的なスケジュール等詳細については、おって本学ホームページ等でお知らせいたしますので、関係各位におかれましては、引き続きご支援の程何卒宜しくお願いいたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
国立大学法人東京藝術大学

音楽学部事務長 増田

TEL : 050-5525-2299

FAX : 03-5685-7784

E-mail : masuda@off.geidai.ac.jp

東京藝術大学『東京藝大ジュニア・アカデミー』の新設

～ 音楽分野における世界トップアーティストの戦略的育成のための早期教育システム改革 ～

★現状・課題

- 少子化の進展により経済的安定性を職業選択に求める社会的風潮の高まりから、10代前半で「音楽家への道（夢）を断念」してしまう状況が、国内において地方を中心に顕在化
- 欧米をはじめ、世界的に「優れた音楽家育成には早期教育が有効」とされる中、我が国では、幼児段階から初等中等教育、高等教育までの接続やキャリア形成等を踏まえた人材育成システムが未確立

早期教育システム構築に向けた取組

東京藝術大学においては、文部科学省「国立大学機能強化事業」の支援の下、「夢を夢で終わらせない」ための全国的な音楽教育の再興、「国際舞台で躍動する傑出した音楽家」の戦略的育成を実現するための早期教育システムを確立するため、

- 平成26年度より、「早期教育プロジェクト」として、地域の逸材発掘を目的に、国内各地において、藝大の教員による、子どもたちへの直接指導（「公開型プレッスン」）を実施
- 平成27年度より、「スペシャルソリストプログラム」として、高校2年生からの「飛び入学」を起点に、「海外一流演奏家による特別レッスン」、「学部3年間での早期卒業」、「海外一流音楽大学への留学」までを一貫した特別プログラム、対象者への「授業料免除・特別奨学金」等支援システムを構築
- 平成28年度より、文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」の指定を受け、附属音楽高等学校において「海外一流演奏家による特別レッスン」や「海外派遣プログラム」等カリキュラム改革を実行

早期教育システム拡充に向けた展開

国立大学機能強化事業を加速化すべく、早期教育システムを継続性ある体系的なプログラムに拡充し、将来的には「小中高大一貫型」の人材育成システムに発展させていくことを視野に入れた新たな仕組みとして、

- 平成29年度より、「東京藝大ジュニア・アカデミー」を上野キャンパスにおいて新たに開設し、日本全国の中学校1～3年生を対象とした早期英才教育コースとして、藝大教員や海外一流演奏家等指導陣による特別カリキュラムを提供

※キャリアパスのモデル例：「早期教育プロジェクト」⇒「東京藝大ジュニア・アカデミー」⇒「附属音楽高等学校」
⇒「飛び入学」⇒「藝大：特別プログラム・3年早期卒業」⇒「海外音大留学」⇒「国際舞台」

東京藝術大学『東京藝大ジュニア・アカデミー』の新設

～ 音楽分野における世界トップアーティストの戦略的育成のための早期教育システム改革 ～

★東京藝大ジュニア・アカデミー構想の概要

○目的

音楽分野における若手逸材発掘による世界トップアーティストの戦略的育成を目的として、現在、全国各地で実施している「**早期教育プロジェクト**」を起点に、**継続的・発展的な人材育成システム**として発展・実質化させて、高等学校や大学教育・海外留学、さらには国際舞台への飛躍と繋げていくため、**体系的な早期英才教育プログラム**を構築

○受講対象者・受入数・対象分野

当面は「**中学生**」を対象に、**中学校1～3年生の3年間を標準修業期間**とする教育プログラムとして開設

※ただし、当面は、中学校2年生からの受入等、柔軟に対応する予定であり、将来的には小学生も対象に展開していく予定

受入数は「**1学年10名程度**」、対象分野は、**現時点において「ピアノ・ヴァイオリン・チェロ・管楽器」**を予定

※ただし、分野に関しては、開設当初においては**対象を精査し、絞り込む可能性あり**（詳細については公募要領にて要確認）

○教育プログラム内容

藝大教員や海外一流演奏家による「個人レッスン」を基本に、音楽家として成長していく上で重要となる、読譜やリズム感等の音楽基礎理論を学ぶ「**ソルフェージュ**」や、**ステージ実践による公開型成果発表**を必修とするなど、将来的な成長・飛躍を見据えた実践的かつ総合的な指導を実施（修了者に対して**大学独自の修了証を授与**）

※受講開始から無条件で3年間指導が継続する訳ではなく、**1年度毎に能力レベルや達成度等について厳格な評価を実施し、継続受講の可否を判断**

○開設場所・受講時間

東京藝術大学（上野キャンパス）において実施することとし、義務教育段階の者が受入対象となるため、指導時間は、**平日の夕刻・夜間や土日祝日、さらには夏休み等の長期休業期間等において受講**が可能となるよう配慮

※夏合宿の実施による集中型のレッスン等、地方からの受講も可能となるよう弾力的に対応する予定

○受講者選抜方法

受講者の選抜方法は検討中であり、**現時点においては、書類及び音源審査により1次選抜を行った後、2次選抜として、実技及び音楽基礎力**に関する試験を課した上で総合的に判定を行う予定

※ただし、**変更の可能性があるため、公募要領にて要確認**。開設初年度における募集要項等の公表は9月頃、受講者選抜については3月を予定

○その他

今回のジュニア・アカデミーの新設と併せて、既存の「**音楽別科**」の入学定員（30名）を10名削減することにより、学内資源の再配置・見直しを行うことで、指導体制やスペース等を確保し、最適な教育指導環境を提供

東京藝術大学 『グローバルプロモーションシステム』の構築

～ 世界の音楽市場に向けた戦略的プロモーションによるキャリアサポートシステム構築 ～

★現状・課題

- 音楽分野の場合、世界一流の音楽家へと成長・飛躍していくためには、人材育成プログラム強化に加え、学外ステージ等での演奏機会確保が重要であり、国内外の音楽市場への積極的な挑戦・展開が必要不可欠
- しかしながら、我が国では、若手音楽家に対するサポートシステムが不十分であるため、個人のセルフプロデュースに依存せざるを得ない状況にあることから、現状においては、世界的に通用するポテンシャルを有する国内の若手音楽家の才能を十分に活かしきれていない状況
- さらに、クラシック音楽をはじめとする国内の音楽業界の現状・需要等を踏まえると、海外における音楽活動を視野に入れた国際的なプロモーション・世界の音楽市場の開拓・進出が重要

若手音楽家のキャリアアップ・プロモーション促進に向けた取組

東京藝術大学においては、現状を打開すべく、人材育成プログラムと連動した新たなキャリア支援として「グローバルプロモーションシステム」を構築することとし、大学在学中から、国内外における演奏活動や成果発信の機会を創出すべく、音楽産業やメディア等とタイアップしたサポートシステムを確立するため、

- 平成28年度より、藝大生のための「藝大レーベル」を新たに立ち上げ、クラシック音楽はもとより、邦楽も含めた、本学学生選抜メンバーによる演奏音源を世界の主要チャンネルにデジタル・ストリーミング配信して、国際的に流通・普及させることにより、若手音楽家の世界の音楽市場への参入・開拓を促進
- 国内の音楽大学では初の試みとして、世界の音楽市場に多様なネットワークを有するワーナーミュージックジャパンをはじめ、Apple Music やLINE Music等音楽産業とのコラボレーションによる、人材育成プログラムとキャリア支援・国際プロデュースを連動させた「産学連携グローバル人材育成モデル」を構築
- 将来的には、在学生の他、卒業生や附属高校生、ジュニア・アカデミー受講生等を含めた若手音楽家をサポート対象として広く展開
- 「奏楽堂」等学内ホール・施設をはじめ、先般「Apple Music/iTunes」により、教育機関としては世界で初めて、ハイレゾデジタル音源収録が可能な施設に認定された「千住キャンパススタジオ」や音響・録音制作のスペシャリスト等、大学が有する世界最高水準のリソース等を最大限活用

『小中高大一貫型人材育成システム』+『グローバルプロモーションシステム』 による『世界トップアーティスト育成モデル』（将来展望も含めた全体像イメージ）

>>> グローバルプロモーションシステム >>>

世界の音楽市場に向けた戦略的プロモーションによるキャリアサポート等実施

- 「藝大レーベル」を創設して学生等の演奏音源を世界の主要チャンネルにデジタル発信し、若手音楽家の世界の音楽市場への参入・開拓を促進
- 「奏楽堂」等学内ホールその他、高品質ハイレゾデジタル音源収録が可能な「北千住スタジオ」等活用
- ワーナーミュージックジャパン、Apple Music、LINE Music等音楽産業とのコラボレーションによる「産学連携グローバル人材育成モデル」を構築
(所属アーティストによるマスタークラスやキャリアサポート講座開設、オーディション実施、国内外の音楽ステージ・音楽事務所等へのプロデュース等)
- 在学生の他、卒業生や附属高校生、ジュニア・アカデミー受講生等若手音楽家を幅広くサポート対象として展開

パリ国立高等音楽院
英国王立音楽院
ベルリン芸術大学
モスクワ音楽院
ジュリアード音楽院
リスト音楽院 等

⇒ 人材育成システムと有機的に連動・機能させる
ことによりシナジー効果を創出

小学校
段階

中学校
段階

高校
段階

東京
藝大

海外
音大

⇒ 継続的・体系的な人材育成システムを構築

海外一流
演奏家の招聘

海外留学

ジュニア・アカデミー

- 日本全域を対象とした
早期英才教育プログラム実施
- 中学生（小学生）を対象とした特別レッスン
 - 藝大教員・海外一流演奏家による指導

逸材発掘

早期教育プロジェクト

- 日本全域を対象としたプロジェクト実施
- 公開型プレレッスン【藝大教員による指導】
 - 音楽アウトリーチ【藝大生による指導等】

附属音楽高等学校

- スーパーグローバル
ハイスクールとしての
特別カリキュラム実施
- 海外一流演奏家による特別レッスン
 - 海外派遣プログラム
 - 国際的に活躍している国内外有識者によるキャリア講座
 - 飛び入学を想定した特別カリキュラム 等

スペシャルソリストプログラム

世界トップアーティスト育成のための
特別カリキュラム・サポート等実施

高校2年生
からの
飛び入学

- 学部3年間での早期卒業プログラム
- 個人レッスン時間の倍増
- 海外一流演奏家による特別レッスン
- 海外一流音楽大学への留学機会付与
- 授業料免除・特別奨学金・顕彰金等の支援
- メンター配置等手厚いキャリア形成支援 等

国際舞台で躍動する傑出した音楽家育成を実現

>>> 小中高大一貫型人材育成システム >>>